



フィラデルフィアの市内中心部、市庁舎のすぐ向かい側にギリシャ神殿風の豪華な円柱が並ぶホテルが立っている。この威風堂々とした建物こそが、ザ・リッツ・カールトンフィラデルフィア「The Ritz-Carlton, Philadelphia」である



ザ・リッツ・カールトンフィラデルフィアの右手、道路を1本隔てた隣にフィラデルフィアの市庁舎が立つ



1908年に竣工した建物は、高さ42m、古代ローマのパンテオンを模した円形のドームを持ち、大理石の巨大な円柱が圧倒的存在感のオーラを発している



筆者 **小原 康裕**  
国際ホテルジャーナリスト

慶応義塾大学法学部法律学科卒。  
1974年 Munich Re 入社。  
2001年投資顧問会社原健設立、  
代表取締役 CEO。  
JHRCA、日本ホテルレストランコンサルタント  
協会理事。

[www.jhrca.com/worldhotel/?cat42](http://www.jhrca.com/worldhotel/?cat42)  
<https://www.facebook.com/yasuhiro.obara.16>

現在、筆者のホームページで  
「世界のリーディングホテル」を連載中。  
多くの美しい写真と興味深いコメントで、  
世界中のホテルとそれら関連都市を紹介。



いかにもアメリカといった気さくなスタイルのベルキャプテン



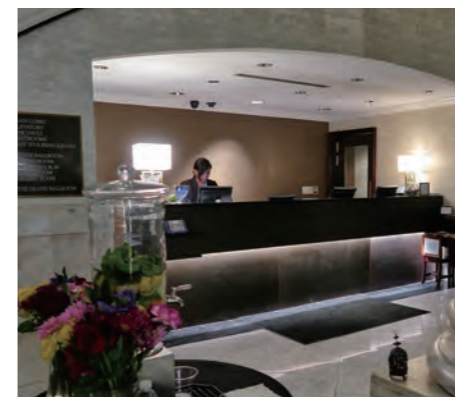
堂々とした貴録あるグランドホール。もともとは築100年以上を誇るジラード信託銀行「Girard Trust Bank」の建物と、隣接して建つ30階建てのオフィス棟「Girard Trust Building」がホテルとして改築されたものだ



2階回廊から俯瞰したグランドホール。写真正面奥にメインダイニング「Aqimero」が見える



古代ローマのパンテオンを模した円形のドームを、何本もの巨大な大理石の円柱が支える



グランドホールの奥に位置するレセプションデスク



30階建てのオフィス棟「Girard Trust Building」を改築した客室棟からグランドホールを望む

世界にはまだまだ日本人が訪れていないホテルがある。このコーナーではホテルエグゼクティブが知っておくべき「世界のリーディングホテル」を紹介する。これまで多くのホテル紹介本が出版されてきたが、そのほとんどが現地のホテルと事前に取材の連絡を取り合い、プロのカメラマンや通訳、そのほか大勢を連れ立っての大名取材であり、宿泊は省略といったことも多々であった。本連載では、著者自身が長年にわたる個人旅行中に自分の目で感じ取り、コメントを書き込み、自分のカメラで思いのままに撮ってきた写真を掲載する。

### The Ritz-Carlton, Philadelphia

フィラデルフィアの市内中心部、市庁舎のすぐ向かい側にギリシャ神殿風の豪華な円柱が並ぶホテルが建っている。この威風堂々とした建物こそが、ザ・リッツ・カールトンフィラデルフィアである。もともとは築100年以上を誇るジラード信託銀行「Girard Trust Bank」の建物と、隣接して建つ30階建てのオフィス棟「Girard Trust Building」

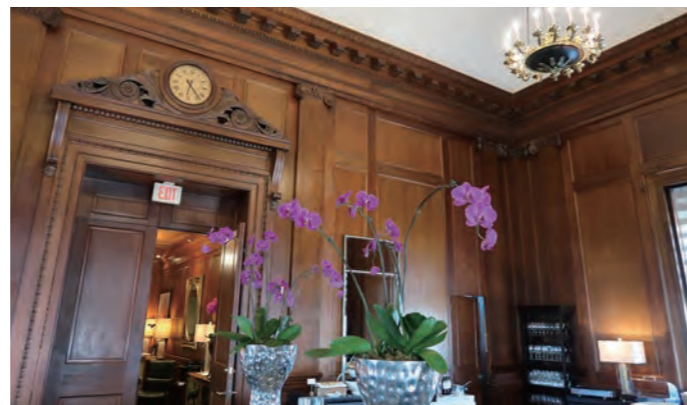




最上階 30 階にある重厚なクラブラウンジ「The Ritz-Carlton Club Lounge」のレセプションフロア。ラウンジは壁面全体を落ち着いたダーク調のウッドを多用した重厚な造りだ



「CLUB LOUNGE」の表示が誇らしい



クラシカルな丸時計がクラブラウンジの歴史を感じさせる



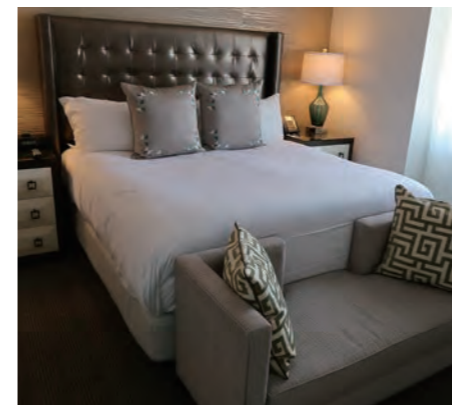
メインダイニング「Aqimero」はビストロスタイルのオープンキッチンが人気だ



ドーム下のグランドホールに位置するスタイリッシュなバーカウンター



約 85㎡の広さがある「Luxury Suite」のリビングからベッドルームを望む。ザ・リッツ・カールトン フィラデルフィアはスイートを含む全 301 の客室を擁し、隣接して高級レジデンス「The Ritz-Carlton Residence」を傘下に持つ



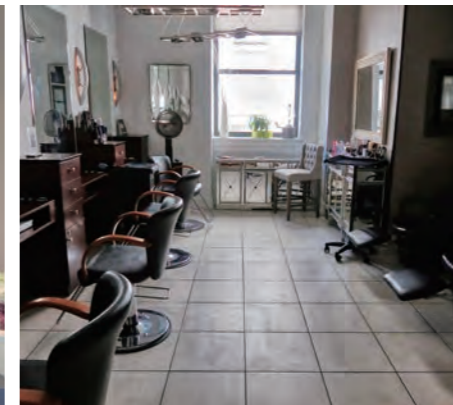
「Luxury Suite」のベッドルーム



「Luxury Suite」のリビングルーム。コンテンポラリー感覚のモダンな部屋で、窓からは市庁舎の尖塔が望める



スパ施設「Richel D'Ambra Spa & Salon」のレセプションデスク



メンズグルーミングやビューティーサロンも充実している

がホテルとして改築されたものだ。1908 年に竣工した建物は、高さ 42m、古代ローマのパンテオンを模した円形のドームを持ち、大理石の巨大な円柱が圧倒的存在感のオーラを発している。この独特な形状の建物は 2500 万ドルを投じて徹底的に改修され、2000 年に「The Ritz-Carlton, Philadelphia」(以下、RC/Ph) としてオープンした。

ペンシルベニア州フィラデルフィアは、歴史的な古都の街並みが残る東海岸の大都市だ。語源は、ウィリアム・ペンがこの地を古代ギリシア語で「兄弟愛の街」を意味する「フィラデルフィア」と名付けたことに始まる。また、1790 年から 1800 年までの 10 年間、この街はアメリカ合衆国の首都でもあった。トーマス・ジェファソン、ベンジャミン・フランクリンが起草した「独立宣言」が議事堂（現独立記念館、ユネスコの世界遺産）で署名され、その議事堂の時計台にかかっていた鐘は「自由の鐘」「Liberty Bell」としてアメリカの自由の象徴となり、南北戦争における奴隷制度廃止のシンボルとなっていった。

RC/Ph はスイートを含む全 301 の客室を擁し、隣接して高級レジデンス「The Ritz-Carlton Residence」を傘下に持つ。今回は約 85㎡の広さがある「Luxury Suite」を紹介したい。コンテンポラリー感覚のモダンな部屋で、窓からは市庁舎の尖塔が望める。最上階 30 階にある重厚なクラブラウンジにアクセスできるスイートで利用価値は大きい。メインダイニング「Aqimero」はビストロスタイルのオープンキッチンが人気である。グランドホールに位置し、ドーム下のスタイリッシュなバーカウンターとの利用がスマートだ。スパ施設「Richel D'Ambra Spa & Salon」はメンズグルーミングやビューティーサロンも充実している。

RC/Ph はダウンタウンの中心に位置し、観光にも便利な立地を誇る。道路を隔てて隣接する市庁舎や Liberty Bell のある独立記念館も徒歩圏内だ。映画「ロッキー」でスタローンが駆け上がったフィラデルフィア美術館正面の大階段とロッキー像も見逃せない。RC/Ph はホテルとしての歴史は浅いが、堂々とした貴族あるグランドホールと豪壮なファサードを持つ建物は、大いなる歴史的価値を持つホテルと言える。